

## 第 11 回 死因究明・個人識別システム研究会

テーマ

「子どもの死亡事故を防ぐためのアプローチ：事故原因究明のための制度について考える」

日時：2023 年 2 月 23 日 13:00～17:00

司会・進行：甲南大学 松原 英世

13 時 00 分～13 時 05 分

開会の辞

会長 岩瀬 博太郎

13 時 05 分～13 時 30 分

総会

13 時 30 分～13 時 40 分

趣旨説明

甲南大学 松原 英世

13 時 40 分～14 時 05 分（基調講演 20 分 質疑応答 5 分）

「子どもの死亡事故検証制度の現状と課題：事後対応から予防のための検証へ」

福岡大学 小佐井 良太

14 時 05 分～14 時 30 分（基調講演 20 分 質疑応答 5 分）

「事故検証委員会の検証：事例から考える再発防止に有用な原因群」

東京工業大学 西田 佳史

14 時 30 分～14 時 55 分（基調講演 20 分 質疑応答 5 分）

「CDR モデル事業と個別検証の位置付け～事件・事故から学ぶには」

弁護士、社会福祉士、保育士 寺町 東子

14 時 55 分～15 時 20 分（基調講演 20 分 質疑応答 5 分）

「CDR と保育・学校事故検証制度の目的（遺族の立場から）：再発防止から未然防止（予防）に繋げる制度への期待」

吉川慎之介記念基金代表理事 吉川 優子

15 時 20 分～15 時 45 分（基調講演 20 分 質疑応答 5 分）

「CDR の法制化に向けて：CDR モデル事業の現状と課題」

長崎大学 河村 有教

休憩：15 時 45 分～16 時 05 分

16 時 05 分～16 時 35 分

総合討論

16 時 35 分～16 時 40 分

閉会の辞

顧問 石原 憲治